

議会だより

元いっしょいっしょ 土庄町

No.29 contents

- 町議会の動き……………2P
- 常任委員会の活動………3～6P
- 一般質問……………7～8P



6月議会で決定(契約締結)!!

- 馬越港港整備交付金事業
- 唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業
- 土庄中学校改築工事

町議会の動き

〈こんなことが決まりました〉

6月議会定例会

6月議会定例会は6月27日から29日までの3日間の会期で開かれました。

最初に町長提出の平成19年度補正予算2議案、条例関係2議案と人事案件2議案、その他3議案、議員提出1議案等を審議し、閉会中委員会付託を可決して閉会しました。

平成19年度補正予算

一般会計

3千41万5千円

老人保健事業特別会計

4千4百71万4千円

条例関係の主なもの

- 土庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 土庄町消防団の設置等に関する条例の一部を改正する

条例

工事請負契約の締結について

- ① 唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業（1工区）A防波堤建設工事

- ② 馬越港港整備交付金事業（1工区）防波堤建設工事

- ③ 平成19年度土庄中学校仮設校舎及び校舎改築建築工事

人事案件

- 土庄町大鐸財産区管理委員会員の選任

肥土山甲1167番地

石原 力氏

肥土山甲2630番地1

林 昭夫氏

肥土山甲2676番地

佐伯 正美氏

肥土山甲2253番地

佐伯 武志氏

黒岩481番地1

三木 宏氏

小馬越甲315番地

森岡 義則氏

笠滝甲365番地

伊丹 秀雄氏

- 人権擁護委員候補者の推薦

淵崎甲822番地

笠井 美恵子氏

意見書

「道路整備財源の確保・充実に関する意見書」を可決し、関係大臣に提出

7月臨時会

平成19年度補正予算

一般会計

1百47万9千円

工事請負契約の変更について

- ① 馬越港港整備交付金事業（1工区）防波堤建設工事

- ② 唐櫃漁港地域水産物供給基盤整備事業（1工区）A防波堤建設工事



6月定例会風景



常任委員会の活動

総務建設委員会

総務課

土庄町発注工事等に関する不当要求行為排除対策要綱の策定

この要綱は、県下各市町が足並みをそろえ、暴力団等による公共工事の受注者（施工業者）への不当要求行為を排除するため、毅然とした態度で拒否し、町への報告及び所轄警察署への届出義務を規定した内容となっております。県内でも多度津町での恐喝未遂事件が発覚するなど、整備が急がれていたようです。今後はこういった不当要求行為の排除はもとより、公共事業等に対する住民の信頼の確保を図ろうとする趣旨もあり、策定いたします。

委員より、わが町での事例はないということだが、当然そういった可能性もあるので整備しておくべきだとの意見がありました。その他、中学校改築についての発注に関し、地元企業への配慮はなされたのかといった質問もありました。

企画課

少子化対策の現状と今後の計画

町の重要施策の一つである少子化対策を含んだ総合的な人口減少対策として、昨年度8名の町職員で構成されたプロジェクトチームが協議し、具体的な20の事例が提言されました。

本年4月には、企画課内に少子化対策室を設置。活力ある地域づくりを推進するために、少子化対策を含む総合的な人口減少対策が重要であるという認識のもと、今後の事業を推進していきたいとのことです。少子化対策については、少子化、子育て、乳幼児等に関して内容により数課にそ

の業務が分かれており、各課の調整が少子化対策室の業務であると位置づけています。

3月から始まった、「土庄町すこやかエンゼル祝金」の支給状況ですが、今年の4月1日以降にお生まれになった第三子以降の赤ちゃんに対して、10万円を支給する「エンゼル祝金」は、現在のところ1名です。同じく第三子以降の、満一歳から三歳までの誕生を迎えた乳幼児に対して年額1万2千円を支給する「すこやか祝金」は、現在6世帯7名です。

エンゼル祝金以外の今後の計画

日ごろ出合いの場が少ない男女の方に、出合いの場を設ける、「おせっかいパーティー」を7月7日の七夕の日に予定しています。その結果により、第2弾、第3弾と内容を変えて計画・実施していくようです。

また、6月号の広報に子育て支援に関する情報を集約して掲載。妊婦が安心して暮らせる社会環境を創設するため、母子手帳交付時に「マタニティバッジ」及び「マタニ

ティ車用ステッカー」の配布、少子化に対するニーズの把握をするともに、町民への少子化対策への関心を深める意味から、ユニークで斬新なアイデアの募集などを計画しています。

委員より、20の提言は素晴らしい、頑張ってください。おせっかいパーティーは年齢区分を設けるほうが良いのでは。期待するほど集まるのか。子どもに対し、温かい手を差し伸べるような方向で頑張ってください。などの意見がありました。

税務課

国民健康保険税課税限度額の改正

国民健康保険税の課税限度額が医療分と介護分とに分けられておりますが、今回の改正は、医療費の高騰により、中低所得者層に負担がかかることから地方税法が改正され、それに伴い、医療分の課税限度額を現行の53万円から3万円増額し、56万円に改正するものです。

税限度額についても、同様に医療分の56万円と介護分の9万円合算した65万円に改正するものです。

国民健康保険税の課税限度額は、平成8年度までが51万円、平成9年度に2万円増額して53万円、平成18年度まで10年間推移してきており、平成19年度に3万円増額して56万円にしようとするものです。

委員より、国民健康保険税の収納率について質問がありました。18年度見込みですが町税全体では2・57%上がっていて、国保税の現年度は94・14%で0・26%上がっており、町税額では約1億の伸びということでした。

農林水産課

平成19年度の漁港事業実施

四海漁港は、今年度が最終年度となっております。伊喜末地区では道路と防波堤、小江地区では物揚場2か所と道路及び用地整備を予定しており、現在、伊喜末地区の道路建設工事の工事が始まっています。今後、小江地区埋立地内

の整備及び伊喜末地区の防波堤の整備を順次実施する予定で、事業費は1億3千万円です。

唐櫃漁港は、計画では22年度までとなっており、平成19年度は、防波堤の継続工事と地盤に砂杭を打設する地盤改良工事及びその上部の土砂を撤去し、捨石のマウンドを作る基礎工事を海上にて施工します。また、防波堤のブロック10個を製作する堤体工を予定しており、総事業費は1億円です。

王子前漁港は、平成16年8月末から9月にかけての、異常潮位による高潮が発生し、本町でも2度にわたる浸水により、住民の皆様が多大な被害を受けました。この対応として、平成17年度からは高潮対策の単独事業として物揚場かさ上げを実施し、平成18、19年度で港整備交付金事業として物揚場・護岸の高上げを計画しました。計画事業費は2千万円です。

四海漁港単独県費補助事業は沖ノ島地区の整備です。沖ノ島地区も平成16年度の高潮により被災しました。状況は本町よりも地盤が低く、1階

部分が丸々浸水した家屋があるほどでした。

現在、高潮対策として単独県費補助事業で対応しているところであり、平成18年度には高潮時の波浪が心配される漁港内側の用地内に胸壁（波返し）を設置し、平成19年度からは立ち並ぶ家屋の前面の物揚場の嵩上げを計画し、事業費は1億50万円とのことです。

甲生漁港単独県費補助事業は4百万円を要しており、当漁港内の防波堤が中心に位置し、漁船の係留に利用されていますが、老朽化が激しく、夜間の利用に危険があるので防波堤の天端の整備を実施することになりました。平成19年度は、天端の改良を実施します。事業費は1百万円です。

建設課

馬越港港整備交付金事業の全体計画と19年度の事業計画

平成18年度には委託調査業務を実施し、本年度より工事に着手する予定です。

現在の漁業活動の中心である小型船のための施設は老朽

化しており、また近年の漁船の大型化に伴い、既設物揚場は泊地の水深不足と狭小が生じて、本港では一部の漁船しか係留できず、操業が終わると近隣の北浦港及び見目漁港に係留してから、車で帰路についている状態です。そして、野積場が皆無なことと合わせて漁業活動にも支障をきたしています。さらに、台風などの異常気象においては、防波堤の天端高が不足していることから、漁船の安全も確保できない状態であり、本港に係留している漁船などは、クレーンなどで吊り上げて陸上部に移設したり、北浦港や見目漁港に避難しています。また、背後地の地盤も低く、港湾に接する民家などは、高潮などの被害も受けているとのことです。

このような馬越港の抱える問題に対処するため、漁船を対象とした小型船だまりの整備を計画しているとのことです。

平成19年度の事業計画は、全体計画を把握するため、残り5か所の土質調査、現場工事として防波堤計画部分にある石材を撤去し、基礎部分の

床掘り工事を行ないます。

委員より、事業期間、総事業費、補助率などの質問があり、それぞれ5か年の単独事業を入れ約9億を要し、補助率は国費40%、県費24%、町費36%で、町費36%は過疎債を予定し、そのうち交付税で75%が返ってくるとのことでした。

なお、町長より参考までにということ、県営として土庄港高潮対策事業が国庫補助事業として5か年で、8億5千万を予定し、今年度は1千万の調査費で、来年度から工事を実施していくとの説明がありました。

水道課

現在の貯水状況

県内では10市町で湧水対策本部を設置しています。

わが町では梅雨待ちの状況で設置していませんが、豊島が非常に厳しい状況のようです。

委員より、湧水

その他委員報告

商工観光課に関することがらが委員より報告されました。

小豆島を舞台にした映画「僕のいく道」のロケが正式に決定したということ、「ディスクゴルフチャレンジ2007」が23日・24日オリビアンゴルフ場で開催されるそうです。



満水の山田ダム

教育民生委員会

教育民生委員会の所管部署は、現場第一主義、現場を知らずして多くを語れない、との思いから、今回は現場研修を実施しました。今後は、順次現場研修を行なってまいりたいと思っております。

今回は、「子育て支援センター」、「土庄中学校」、及び「土庄町一般廃棄物最終処分場」の3か所を視察研修し、大変有意義な勉強をいたしました。

教育総務課

子育て支援センター

何組かのお母さんと子どもさんもおられ、和やかな雰囲気の中、説明を受けました。何よりも平成17年度の利用数が5800人だったものが、平成18年度では7000人と非常に大きく伸びていること、この施設に来られるお母さん方に大変喜んでいただいていることが有難く感じられ



子育て支援センター視察風景

あり、また、事業計画表で3か年の工事等の内訳と9つの工事分類などが説明されました。

委員より、空調は全教室設置なのか、ソーラーパネルは何故なくなったのかに對し、空調については、希望は全教室へのことでしたが予算面もあり不確定ですが配管・電源などは整備しておきます。ソーラーパネルについては費用対効果及び全体予算の点から省いています。また、特色ある魅力的な校舎作りを設計にどう要請しているかに對し、設計への要請はプランニング・学習環境を中心に考えています。また、解体が秋にずれ込んだ対策については、工期が秋にずれ込んでくるが解体については出来るだけ早く済ませるよう指示しています。その他、地元

土庄中学校改築

現地では、今後の日程並びに校舎及び仮設校舎の位置について説明があり、じかに肌触れた話しが聞けたという実感でした。

委員会室で平面完成予想図及び各階平面図で校舎の位置、玄関の位置、各階教室等の配置について詳しく説明が

木材の使用については、直径16cmで2500本程度必要と見えています。地元技術を生かすためにも分離発注をしているかについては、一般競争入札を5億円から1億円以上に下げました、1億円未満を指名競争入札とし、300万以上の工事は分離発注ということで配慮しているとの答弁でした。

報告事項

学校審議会を7月に立ち上げ、豊島を除く小学校を1校にするのか2校にするのかといった検討に入り、四小小学校が平成21年度から複式学級となる可能性が出てきたので、地元との話し合いを持つとのことです。

委員より、3点

の質問がありました。学校審議会メンバーには年齢構成を配慮した若い人も加えてくださいとの質問に対し、学校審議会のメンバーには、配慮をしたい。北浦小学校の複式はどうなったのか。北浦小学校はすでに複式になっているが教頭等を配置して対応している。放課後の子どもプランの経過と推移はどうなっているのか。放課後子どもプランは、コーディネーターを2人採用し7月から試行するとのことでした。



土庄中学校建設に伴う現地視察

福祉課

豊島診療所の進捗状況

平成18年度に診療所の実施設計を行ない、豊島家浦の町有地に木造鋼板葺き平屋建ての建物を建築することになりました。平成18年6月に設計委託を行ない、本年4月には設計監理委託をすることに決定。平成19年5月18日に建設工事の入札があり毛利建設に決定いたしました。工期は平成19年5月18日から平成19年12月20日となっているようです。

委員より、建物が完成し診療開始となれば、週4回の診療日を、毎日していただけるようにとの要望に対し、毎日という話ですが、住んでいただける医師が見つからない、中央病院から派遣しているが病院自体も医師不足の状態です。

その他、わが町での国民年金相談の状況は、どうなっているかとの質問に対し、年金相談は通常より倍近くの相談があったとの答弁がありました。

人権対策課

小海浜住宅建替事業における基本計画概要報告書

老朽化により、建替えに至った経緯、現在までのまちづくり推進体制の状況、また、いろんな協議の中で現行の敷地では狭く、住宅配置計画が出来ないため、住宅に隣接する自治会所有地の購入などの状況説明がありました。用地が確保できれば、そこにまず6戸を建築し、転居後、現行住宅を取り壊し、順次解体と建設がスムーズに運べるようになるとの説明がありました。

委員より、住宅家賃はどのくらいになるのか、高潮の心配はないのかなどの質問がありました。家賃については今のところはまだ分からない、また、高潮は前回の台風では影響がなかったとの説明でした。

中央病院

平成18年度の決算見込

入院外来とも伸びてはいるものの決算額は6千6百70万

3千円の赤字ではございますが、対前年度比較をすれば5千7百93万5千円の減収とのこと。詳しくは決算書でご報告させていただきますということですが、この減収の理由としては、平成18年度より、診療報酬などの改正があったこと、土曜・日曜などの臨番制への国からの補助がなくなつたこと、平成17年度に対し医師数が増えたことなどが要因とのこと。その他、平成14年当時の診

療に対する訴訟事件について説明があり、和解となるか判決によるのか不透明ではあるが、決まれば議会の承認、予算措置をお願いしたいとのことでした。

住民環境課

小江地区の「土庄町一般廃棄物最終処分場」の現地では、海岸線及び砕石側への土堰堤構築予定と今後の埋立処分における許容年限、また、最高裁で敗訴となったフェンス整備の箇所についても説明がありました。

小江最終処分場



委員会室では、浄化槽設置補助についての説明があり、一番需要の多い5人槽の補助基本額が1万円下がり、需要の少ない10人槽が1万円上がったものの、上がったもの、わが町の全体としては39万円の減額となっています。当初の見込みを30基しか見込んでおらず、100基の需要が想定されます。今後の事情によっては補正対応をお願いしたいと

のことでした。

報告事項

1点目は、御影浄苑の協定締結が出来ていないが、し尿処理業務への10か年の操業延長についてはご理解いただけている。文書でのやり取りが未完了ということで引き続き努力してまいりたいとのことでした。

委員より、御影浄苑の協定は委員会からも指摘されているとのこと。早急に協定締結してくださいとの強い意見がありました。

2点目は、小江のごみ埋立地の問題ですが、平成7年から15年間の協定となっていました。この期限が平成22年度になります。埋立に余裕があれば再度協議という約束であり、期限の3年前ということ。今年度が交渉の年になり、今後交渉に入るといふ説明でした。

3点目は、生活排水処理構想ですが、平成17年で5か年が過ぎ平成18年度から22年度までの5か年についての構想をまとめることとなります。

町政に対する質問

6月定例会
一般質問事項

川口幸路議員

駐車場整備

①有料駐車場拡張の考えはありませんか。

②無断駐車をしている吉ヶ浦埋立地を整備し、有料駐車場とするお考えはありませんか。

現在、貨物船の休憩用の岸壁として利用している中で、利用計画の変更ができるかどうか、香川県と協議中です。

土庄港の緑地については県有地であり、国庫補助事業で造成していることから、駐車場に拡張することはできないと思われま

す。

わが町の将来ビジョン

少子高齢化を踏まえ10年後を見据えたわが町のあるべき姿への具体的なお考えがあればお示しく

ださい。

地方行政の本旨であり、まず「住民本位の行政」

泊 満夫議員

通学路の安全対策

学童の交通安全対策について、赤穂屋交差点から八幡橋間の道路狭隘ルート

の安全対策についてお伺いしたい。

道路拡張が短期的に解決できそうにない現状において、現在、瀨崎幼稚園では登園時にはほとんどが保護者同伴で、降園については2名の教師が引率をしております。また、瀨崎小学校では、職員や保護者、地域ボランティアによる登校時の交通立哨を毎日実施し、児童に対しては、路側帯での一列通行を徹底するよう指導しております。

土庄港フェリーターミナルの再整備と利活用

今年行われようとしているオリブ植栽100周年事業

を起爆剤に小豆島の表玄関口にふさわしい土庄港の再開発計画と、フェリーターミナルの機能アップが必要と思うが、当局の将来計画についてお伺い

したい。

切符売り場、待合室としての機能のみならず、情報発信基地（土庄町、小豆島の宣伝）としての機能強化、そして賑わい創出施策（サンポート・コリドー）の検討をしてみ

てはどうか。

ターミナルの備品

等、特に特産品の展示物については、時代のニーズに合った方法を関係方面と協議をし、見直してまいりたいと思

います。また、サンポートの「コリドー」の活用については、2008年には、香川県において、「瀬戸大橋開通20周年」「県魚ハマチ養殖80周年」「オリブ植栽100周年」を迎えますので、「コリドー」を管理している施設管理者（港務課・高松港管理事務所）と使用交渉を行ってまいります。県とも連携し、全国に誇れる魅力を広く内外に情報発信し、積極的に誘客活動に努めてまいりたいと考えています。

土庄町ホームページの充実

情報通信の進展に伴い、その中心となるイン

ターネットの活用が日増しに増大する中、各行政のホームページの見やすさ、検索しやすさ、興味ある画面構成など、内容の充実に向け、今後の取り組み方についてお伺い

したい。

町のホームページについては、各ページの内容に関して「誰に見てもらったためのものか」という視点に立ち、作る側（発信者）である職員一人ひとりが常に考え、「簡潔で、誰が見てもわかりやすい表現、使いやすい構成」を目指しております。本年度に「土庄町行政情報化計画」を作成するための策定委員会を設置し、検討する予定です。

山本良熙議員

「健康日本一の町づくり」の取り組み

①社会体育の推進、②保健福祉の推進、③医療支援）を挙げておりましたが、町として具体的にどのように取り組んできたのか見えておりません。もし取り組んでいなければ、今後どのような計画なのか教えてください。



社会教育が、生きがいづくり、地域づくりという面で、地域社会の中で果たす役割の一つとして、健康増進に貢献をし、結果として医療費の抑制に寄与しているとの認識をいただきました。健康日本一という具体的な政策目標を明らかにした上で、その達成への方策の一つとして社会教育の振興を提言いただいたこととなります。今後とも社会教育のみならず文化協会、子ども会、青少年育成、あるいは図書館活動、これらの各分野にわたり、指導者、参加者の皆様とのご相談の中、社会教育のよき伝統を受け継ぎ、さらに発展していきたいと考えています。



井上正清議員

子育て支援



総務省が毎年行なっております、子どもの日にちなんだ人口推計によりますと、15歳未満の子供の数は26年連続で減少、人口比13.6%と過去最低を記録。わが町においては、県下17市町で小豆島町・直島町と並び最下位の11.6%、出生者数はここ数年間100人前後と低迷が続いております。子育て世代への多岐にわたる支援策が急がれます。

①子育て支援センターの職員増、土・日開園、一時預かり。



職員の配置については、現状から見ても増員は考えてはおりません。また、また土・日の開園については、試験的に月に一度くらい、土・日のいずれかを開園するなどの検討をしていきたいと考えております。また、一時預かりについては、専用の部屋の確保、担当職員の配置等の検討課題があり、実施は難しい状況です。今後乳幼児の減少により、保育所に空き部

屋が確保された時点で前向きな検討をしたいと思えます。



②公立保育所(愛の園)の受け入れ拡大。



保育所入所については、毎年、1月に翌年度の入所募集をしておりますが、この期間に申し込みをされた方については、第一希望の保育所への許可をしております。また年度途中の入所については、職員配置、面積基準等で希望の保育所に許可ができない場合があります。

上川正衛議員

教育のあり方



町内の学校教育と教育現場の状況・問題点について。

近年、学校現場において自己中心的な親や学校への理不尽な要求などが横行して、学校現場が混乱している状況が報道等で見受けられます。土庄町においては、そのような理不尽な要求をする保護者等はいないようですが、今後もこのようなことがないように「開かれた学校」を目指すとともに、PTA活



動の活性化や学校評議員及び地域の各種団体との連携を深めながら、学校教育を進めていかなければならないと考えております。

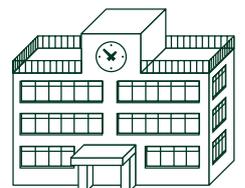
編集後記

今年の梅雨は雨量少しとの予報で心配していましたが、台風4号のおかげで水の心配も一段落、あとは災害がおこらないようにと祈るばかりです。

今回から表紙は、内容が一目で分かるように目次等を入れさせて頂きました。また、文字の色も来年のオリーブ植栽100周年にちなみオリーブ色に変えてみました。

限られた予算の中で、皆さんに親しまれ、読みやすい議会だよりを目指し、頑張っていきたいと考えております。どうかよろしくお願いたします。

皆様より多くのご意見をお寄せください、お待ちしております。



みんなが
考えよう
未来のための
土庄町!

町議会の本会議は公開されています。皆さんが選んだ議員がどのような会議を行い、町政がどのように進められているかなど、町議会の実際を知りたい方は、いつでも傍聴することができます。

詳しくは議会事務局へお尋ねください。(6217001)

次の町議会は、9月26日から予定しています。